

これからの観光

てその基盤となる県内外の観光地を有機的に結ぶ交通施設を整備することが先決です。

九州縦貫自動車道およびスカイラインをはじめ、主要観光地を結ぶ幹線道路の整備と各観光地に到達する連絡道路、観光地内の周遊道路、歩道の整備。

自動車旅行の発展と全国的な長距離バス化にそなえ、九州広域観光圏内外からのバスの発着基地として熊本市中心にバスターミナル、各観光地内の駐車場の整備。

九州における鉄道のセンターとして国鉄新幹線熊本乗入れと鹿児島本線の電化複線化をはじめ、豊肥線、三角線、高森線等の整備充実。

フェリーポート、遊覧船の充実および観光港湾等海上観光ルートの整備。九州の空の中央基地として、大型空港の建設による東京大阪等への定期便の増便、九州主要都市とのローカル定期網およびアジア地域との定期航路の開

魅力的な観光地づくり

特性を生かした観光地へー今日の観光開発は、観光地のもつ立地、環境、資源性といった地域の特性に結びつき統合された開発計画に基づく観光地づくりが大切です。

九州の観光は、道路鉄道など交通施設の整備にとまらず、九州においては国立国定公園や主要観光都市を結んで、従来のS字型周遊ルートから8字型周遊ルートへと伸長し、この基幹ルートを基盤として、今後の九州の広域観光圏が形成されるものと考えられます。

従って、本県は立地的にみても九州広域観光圏の中央部を占めるとともに、8字型周遊ルートのかなめの位置にあるもので、その優位な立地と資源性を生かして本県観光全般にわたる観光客受入れ体制を整備し、九州観光の中核としての体制を早急に確立することが、県観光誘致において極めて重要な課題といえます。

観光の基盤となる交通施設を整備する

道路、鉄道、航路、空港など全国的な交通網の整備と観光旅行の国民大衆化によって今後旅行の形態はますます遠距離化、周遊化する傾向にあります。

従って今日の観光地の発展は、観光地が周遊ルートに十分組み入れられる体制にあるかにかかっていますが、これは九州横断道路や鹿児島本線の電化・複線化、さらには天草五橋の開通等、基盤施設の整備が本県観光に大きな転機となっているように、九州観光交通の中核とし

とがいかん大切であるかということ。④いまや観光産業は、地域開発に重要な役割をもち、本県の産業経済に大きな分野を占めていること。

⑤観光客受入れには、観光地ぐるみの受入態勢の整備が大切であること……の五つについて述べてきました。

本県観光は、いま九州観光の代表的な8字型周遊ルートの主軸として大きく位置づけられ、九州観光の中核としてますます発展すべきときにあります。このときにあたり、観光ということ

が、究極には、県民の皆さんが観光客を温く、親切に迎えるという心構えが観光客受け入れ態勢をつくる地盤になることもいえます。以上のように観光というものが①国家的に重要な意義と使命をもつものであること。②私たち国民生活にとって、健康で文化的な暮らしのうえに大きな動きをもつものであること。③熊本のもつ自然や人文の観光資源の美しさ雄大な貴重さを、保護し、いかすこ

旅情 山鹿温泉

劉 寒 吉(作家)

その灯籠祭りを見物に行ったのは、もう十年も前のことである。このたびの宿は大橋に近く、やはり菊池川にのぞんだ新泉荘だった。

山鹿灯籠は骨無し灯籠、という盆歌の一節があるそうだが、豪壮な御殿や、金銀を散りばめた五重塔や、可憐な小鳥の入った籠などは、ことごとく木も釘も使わずに紙ばかりで作られていて、それが町内に一台つ飾ってあった。夜なかの十二時頃に「お上り」の三味線や太鼓のハヤシとともにその灯籠台を神社の境内にかつぎ込むのだが、いかにも優雅な祭礼である。

奉納を終えた「お下り」は夜明け近い頃におこなわれる。ぼくは澄明な湯壺の中で遠くからながれてくるお下りパヤシの音をききながら恍惚となって、山鹿はいい所だが、これは温泉と川と灯籠の三位一体の情調というものだな、などとラチもないことを考えたりしたものである。 (九州の観光だよりより)

単に観光業界だけの問題としてでなく、県民の皆さん一人一人が観光の真の意味を理解されて、また観光を楽しんでもらい、観光熊本の繁栄に協力していただくことが、最も大切なことではないでしょうか。

以上のように、私は美しい観光地と豊かな観光資源に恵まれた山鹿を、新しい産業の繁栄を願わずにはいられないのです。そのためにも果してどのようなことがなされなければならないか、基盤となるべき観光行政はどうあるべきか、これら問題について考えてみることにしました。

したがって、九州広域観光圏における観光管理都市熊本市を中心に、我が国の象徴的観光資源である火山美の阿蘇と、海洋美の天草を横軸として、菊池川流域温泉都市の東北観光地と人吉芦北海岸の県南観光地を縦軸、それぞれのもつ観光的機能を生かし特性ある観光地づくりを推進していきます。

熊本市域

九州観光における観光交通の中核としての都市施設の整備、水と森と文化財を基調とした魅力ある都市美の形成。

阿蘇地域 阿蘇の山岳、火山、高原、森林、溪

谷、温泉といった多面的な観光資源の活用。阿蘇の広い公園地域において観光客が周遊できるためのルートと観光拠点の開発。

天草地域

九州横断国際観光ルート上の主要観光地域にふさわしい宿泊観光施設など、受け入れ態勢の整備。多島群景観と五橋の松島、キリシタン殉教と宿泊拠点の本渡、苔北、海洋美と温泉の西海岸、内海の東海岸それぞれの特性を生かした拠点開発。

菊池川流域温泉郷

玉名、菊池、山鹿の温泉都市それぞれ特色ある観光地としての充実と、



一南の島のムードあふれる天草PRのための観光ポスター

広域温泉郷としての形成。熊本市域との観光的連けの緊密化。

人吉芦北海岸

南九州観光圏と結ぶ重要拠点としての観光開発。温泉、文化財、海浜利用を生かした国民休養地としての観光地づくり。

国民の森、金峯山観光開発事業の総合的推進。

海洋レクリエーションの必要性にそなえ天草における海中公園候補地を調査。地区の設定、開発事業の推進。

貴重な動植物、文化財、資源を有する人吉、阿蘇地域における観光資源調査と観光開発。

五木、五家荘、氷川流域の県立公園指定と観光開発。

阿蘇スカイライン建設に伴う観光産業の推進と阿蘇、菊池川流域温泉郷の適正な観光計画と開発の推進。

阿蘇山上を中心とする国際観光地としての整備事業の推進。

阿蘇、天草国立公園事業および県内六地域の県立公園事業の推進。

阿蘇における草地改良事業による土地の効率化、観光牧場、森林公園等観光と畜産、林業の併進、天草におけるフィッシングセンターや観光関連産業の推進。

観光地域計画に即応し、民間企業の秩序ある観光開発を前提とした育成誘致を積極化し、地元産業経済との掛け

と強化。

観光客の入込数、流動状況の把握と観光事業による地域経済効果の測定等観光地づくりのための観光統計の充実。

観光資源を護り、開発する

美しい自然と豊かな史跡

熊本県は、阿蘇、天草をはじめとする自然の資源と、歴史と伝統の中で形成された文化財、建造物、民俗資料等の人文的資源は極めて多彩なものがあります。そしてこれらの観光資源が観光の基盤となつて特性ある観光地を形成する重要な要素となっているのです。

そのため、そういった観光資源の総合的な調査体制を確立するとともに、保護と活用についての具体的施策の積極的推進をはかっています。

阿蘇および天草国立公園のすぐれた自然の景勝地として規制すべき特別地域の保護施策の推進。

史跡、名勝、天然記念物等文化財顕彰施設の整備と積極的な観光活用。

明治百年を記念して、県内の豊富な明治の文化財の調査、観賞コースの設定。

学生、青少年等を対象とする観光教育の推進。

地域における自然や人文資源の自主的な保護運動の助長。

観光地における美化清掃体制の確立。豊かな民芸および民話等郷土芸術の保護育成。